

令和 7 年 12 月 19 日

総合型選抜入試・推薦入試に合格された方へ

東北学院大学文学部教育学科
教育学科長 加藤 卓

入学前課題のお知らせ

東北学院大学文学部教育学科への合格、おめでとうございます。

さて、晴れて教育学科に合格されたみなさんは、春からの新生活に向けて、期待に胸をふくらませていることでしょう。同時に、大学の学びはどんなものだろうか、ついていけるのだろうかと、不安に思っている方もいらっしゃるかもしれません。そこで教育学科ではみなさんの大学での学びがスムーズに開始できるよう、課題を用意しました。

大学の授業では、専門書や論文などの文献を読む機会が増えます。いわゆる「レポート」課題も少なずありません。そこで、大学の学習の予行演習として、以下の課題に取り組んでみましょう。

提出は Google Form から行ってください。3月上旬ごろに教育学科教員から、レポートへのコメントや書き方のアドバイスを受けることができます。

課題図書レポート 作成要領

以下の要領をよく読んで作成してください。(1)(2)両方の課題の提出が必要です。

	(1) 教育学系課題	(2) 英語教育系課題
締切	令和 8 年 1 月 23 日 (金)	令和 8 年 1 月 30 日 (金)
課題図書	渡邊雅子(2024)『論理的思考とは何か』, 岩波書店 書店より購入する(¥920+税)。書籍は、大学生協でも購入できます。	白井恭弘(2013)『ことばの力学-応用言語学への招待』, 岩波書店 書店より購入する(¥836+税)。書籍は、大学生協でも購入できます。
課題	課題図書を読み、その内容をふまえて第 2 章の 4 つ型の違いを要約し、自分の意見を述べてください。	課題図書を読み、特に関心を持った章を取り上げ、 <u>その章の要約および自分の意見を述べ</u> てください。
書式	それぞれの課題に関して、1200 字程度（要約 500 字前後、自分の意見 500 字前後）で作成してください。字数を満たしていない場合、再提出を求めることがあります。 ※「教育学科入学前課題フォーマット」をダウンロードの上、Word などワープロソフトを使用して作成し、Google Form（下記参照）から提出してください。	
手順	1. 課題図書を通読します。 2. (英語教育系課題のみ) 特に関心を持った章を決定します。 3. キーワードやキーセンテンスを含めながら、教育学系は 500~800 字、英語教育系は 400~500 字で要約します。 4. 自分なりの意見、疑問、反論、同意する点などを述べ、なぜそのように考えるのかについて、教育学系は 300~500 字程度、英語教育系は 600~700 字程度で論議を行います。その際、自分の経験や別の事例を挙げながら、論理的に意見をまとめます。 ※読書感想文にならないように注意してください。	

作成する際のアドバイス	<p>【教育学系課題】</p> <p>1. 第2章を読む際には、他の章もよく読んで私たちの思考はスタイルをもつことを確認しましょう。</p> <p>2. 第2章の内容を要約する際は、それぞれの作文や論理の「型」の違いが分かるようにまとめ、著者の問題意識や重要な概念などを整理したうえで自分の考えをまとめましょう。</p>	<p>【英語教育系課題】</p> <p>1. 要約する際には、著者が何を主張したいのかを正確につかんで要約しましょう。専門用語や重要な概念で本を読んだだけではよく分からなかったようなものは、事典等を使用して自分で調べましょう。</p> <p>2. 自分の意見を書く際には、自分がなぜこのテーマ(章)を選んだのか、自分の経験や自分で他の本やインターネットなどで調べたことを含めながら、自分の考えを分かりやすく説明しましょう。</p>
	<p>自分の意見を書く際のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の教育に関するトピックと関わらせて論述しましょう。 ・著者の意見に対する自分の立場を示し、賛成する点、反論する点を整理しましょう。 ・本書のテーマに関する他の文献やインターネットサイトの情報を調査して、自身の意見に反映させましょう。 ・著者や参考にした文献・情報のことばを引用し、自身の意見を述べましょう。 ・自分自身の経験と関わらせて論述しましょう。 <p>引用する際の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著者の考え方や主張を引用する場合、2種類の引用方法があります。 <p>直接引用：引用したいことばをそのまま抜き出して引用する方法です。引用部分は「　」で示します。 例：山田（2016）は、「...」（p. 18）と述べている。</p> <p>間接引用：著者の主張や意見を理解したうえで、自分のことばに置き換えて引用する方法です。 例：つまり、山田（2016）は...と主張している。</p>	
提出先	<p>【教育学系課題】</p> <p>https://forms.gle/LXQccvCMsdmcrmnt8</p> 	<p>【英語教育系課題】</p> <p>https://forms.gle/6pWWyMF5Vz4fGNy66</p> 
事後	3月上旬の教員からのコメントをもとに、自分でレポート作成能力の向上を図る。	

<p>【問い合わせ先】</p> <p>教育学科 清多 英羽（seta@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 022-721-3296） 大友 麻子（otomo@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 022-721-3246）</p> <p>※本課題に関する問い合わせ先は入試課ではありませんので、ご注意ください。 ※電話は1～2月は大学の学内試験および大学入試期間のため、出られない可能性が高くなります。できるだけメールでお問い合わせください。 ※携帯電話・スマートフォンのメールの場合、返信が届かないことがあります。2～3日経っても返事が来ない場合、パソコンのメールから再度お問い合わせください。</p>
--